



## チャレンジ支援委員会

# 「発表応募よろず相談処」報告書 #1

チャレンジ支援委員：〈大阪会場〉 奥田，嶋津，櫻井，藤田

〈東京会場〉 佐久間，村澤，（事務局）

### 【大阪会場】

於：（株）凡人社 大阪事務所



初の試みであった「発表応募よろず相談処」は、東京・大阪同時開催の運びとなり、非常に有意義な時間となりました。台風接近中の大阪会場では、奥田委員長はじめ、4名の侍が、7名の参加者をお迎えいたしました。

各大会や支部集会の「発表応募支援セミナー」で行ってきた内容を参加者の方々に説明し、質問の時間を設けました。さらに、個別相談では、参加者の方々が興味関心のある研究テーマに

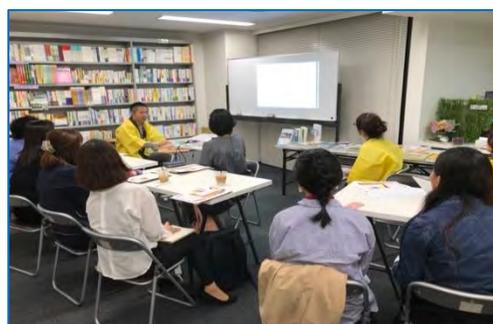
ついてお話しする中で、それぞれの今後の課題を認識して下さったようです。

参加者の中には、以前に応募したことのある発表要旨や研究の概要を持参くださった方がおり、「発表応募よろず相談処」への参加の意気込みと関心の高さを、身をもって感じました。侍たちは参加者の相談や悩みをしっかり受け止め、真摯に対応し、あっという間の3時間でした。

今回の「発表応募よろず相談処」は、凡人社様のご協力のおかげで、非常にリラックスした雰囲気作りができ、参加者の皆さまも侍たちも大満足。今後もこのような機会があることを望みます。

皆さま、どうもありがとうございました！

（文責：嶋津）



## 【東京会場】

於：(株) 凡人社 麴町店

東京会場は、雨の中、2名の方がお越しくださいました。

これまで各支部にお邪魔して行ってきた「発表応募支援セミナー」や個別相談のノウハウを生かし、まずは新しくなった「公益社団法人日本語教育学会発表要領」「発表要旨・web用要旨ファイル(zip圧縮フォルダ形式)」について全体で説明しました。続いて、チャレンジ支援委員が過去に応募した際の実際の応募用紙を基に、書き方やポイントを説明しました。

続いて個別に現在の研究やその方向性、まとめ方のヒントなど、2時間ほどじっくりとご相談する時間を持ちました。ご相談者も積極的にいろいろ話してくださいましたし、終始和やかな雰囲気でも個別相談会を行うことができました。東京で行うのはこれが初めてでしたが、このような支援のニーズがあることがわかりました。また、今回は賛助会員の凡人社様に場所を提供していただきましたので、具体的なアドバイスをしながら出てきた書籍もすぐさまご覧いただくこともできました。支部集会だけでなく、定期的に一定の場所でこのような相談会を行うことの意義が再確認できたことは大きな収穫だったと思います。



雨の中ご相談に来てくださいましたみなさま、どうもありがとうございました。

(文責：村澤)